



福島科学・工学・廃炉に関する国際メンタリング・ワークショップ
(Joshikai in Fukushima) の開催について

2019年4月23日

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

原子力損害賠償・廃炉等支援機構（理事長：山名 元、以下「NDF」という。）は、経済協力開発機構/原子力機関（OECD/NEA）との共催で、「福島科学・工学・廃炉に関する国際メンタリング・ワークショップ（以下「Joshikai in Fukushima」という。）」を下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

我が国においては理工系分野の人材の確保、とりわけ女性の活躍が低調であることが課題となっています。この課題の解決に取り組むことは、長期にわたる福島第一原子力発電所の廃炉を着実に進めるためにも重要です。そのため、NDFが福島県内で別途主催する第4回福島第一廃炉国際フォーラム（8月4日（日）～5日（月））に先立ち、我が国の理工系分野での女性の活躍を促進するための活動の一環として、福島をはじめとする全国の女子中高生の皆さんを対象に、国内外の理工系女性研究者等との交流を通じて科学・工学・廃炉への興味・関心を高め、将来の選択肢の一つとして理工系への進学を検討していただくことを目的として、Joshikai in Fukushimaを開催いたします。

記

1. ワークショップ名

福島科学・工学・廃炉に関する国際メンタリング・ワークショップ
(Joshikai in Fukushima)

2. 開催日時

2019年8月2日（金）～3日（土）

3. 開催場所

福島県環境創造センター交流棟（コミュタン福島）

4. 主催

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

(大規模な原子力災害が発生した場合において、原子力損害賠償及び廃炉等の適切かつ着実な実施を図ることを目的に設立された特別の法律に基づく認可法人。)

5. 共催

経済協力開発機構/原子力機関 (OECD/NEA)

6. 内容

別紙1のプログラム案及び別紙2の共同議長・メンター一覧をご参照ください。

7. その他

今回のJoshikai in Fukushimaは、2017年に国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構(QST)が、2018年に国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)がOECD/NEAと共催して開催した国際ワークショップの第3弾としても位置付けられるものです。



“Joshikai”ロゴ

問い合わせ先:

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

廃炉総括グループ 池谷・齋藤

TEL: 03-5545-7104

Joshikai in Fukushima プログラム (案)

2019年8月2日(金)

時間	活動
10:00-12:00	開会挨拶、来賓挨拶(NDF/NEA)
	キーノートスピーチ①
	生徒へのオリエンテーション、メンターによる発表
	グループワーク
	昼食
13:00-17:00	コミュタン見学
	グループワーク
	1日目総括
	交流会

2019年8月3日(土)

時間	活動
10:00-13:00	キーノートスピーチ②
	グループワーク
	報告セッション
	全体総括(NDF/NEA)
	閉会挨拶
	昼食
午後	施設見学

Joshikai in Fukushima
共同議長・メンター一覧（4月23日現在）

<日本側共同議長>

室伏 きみ子 お茶の水女子大学 学長

<日本側共同議長代理>

渡辺 美代子 科学技術振興機構 副理事／日本学術会議 副会長

<日本側メンター>

熊野 裕美子 東京電力ホールディングス(株)
原子力安全・統括部 原子力企画グループ 課長

佐々木 成江 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 准教授

島崎 抄子 株式会社ドワンゴ niconico 事業本部 DMC 開発部 マネージャー

羽田 由美子 経済産業省 資源エネルギー庁 原子力事故収束対応室 調整官

廣瀬 史子 宇宙航空研究開発機構 主任研究開発員

<海外共同議長>

Rosa YANG Vice President, Innovation, Electric Power Research Institute
(EPRI) [米国]

<海外メンター>

Malgorzata SNEVE Director, Regulatory Cooperation Programmes,
Norwegian Radiation Protection Authority (NRPA) [ノルウェー]

Rebecca TADESSE Head of Radioactive Waste Management and Decommissioning
OECD/NEA

他